

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5192131号  
(P5192131)

(45) 発行日 平成25年5月8日(2013.5.8)

(24) 登録日 平成25年2月8日(2013.2.8)

(51) Int.Cl.

F 1

**A 4 7 B 88/00 (2006.01)**

A 4 7 B 88/00 C

**A 4 7 B 88/20 (2006.01)**

A 4 7 B 88/20

**A 4 7 B 77/06 (2006.01)**

A 4 7 B 77/06

請求項の数 9 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2006-126221 (P2006-126221)  
 (22) 出願日 平成18年4月28日(2006.4.28)  
 (65) 公開番号 特開2006-305366 (P2006-305366A)  
 (43) 公開日 平成18年11月9日(2006.11.9)  
 審査請求日 平成21年3月25日(2009.3.25)  
 (31) 優先権主張番号 202005006952.3  
 (32) 優先日 平成17年4月28日(2005.4.28)  
 (33) 優先権主張国 ドイツ(DE)

(73) 特許権者 504467554  
 ポール ヘティッヒ ゲーエムベーハー  
 ウント ツェーオー. カーゲー  
 ドイツ, 3 2 2 7 8 キルヒレンゲルン  
 ファーレンカンブシュトゥラーセ 1 2  
 - 1 6  
 (74) 代理人 100094318  
 弁理士 山田 行一  
 (74) 代理人 100123995  
 弁理士 野田 雅一  
 (72) 発明者 ラルフ ミュッテルティス  
 ドイツ, 3 2 5 8 4 ローン, ベニン  
 グスフェルド 2 1

審査官 蔵野 いづみ

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 家具の一部の引出し

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レールシステムを備える引出し案内を用いて家具本体に固定されそれに対して移動可能であり、前部スクリーン(11)、床部(22)、前記前部スクリーン(11)に垂直な2枚の側板(12、13)および前記前部スクリーン(11)に平行でありそれから距離を置いて前記2枚の側板(12、13)の一方から他方まで真っ直ぐ延びる後部壁(14)を備える家具の一部の引出し(10)であって、

前記引出し(10)の前記後部壁(14)および前記床部(22)の前記前部スクリーン(11)とは反対側の縁部が前記側板(12、13)の前記前部スクリーン(11)とは反対側の後部端面の全体に対して前記前部スクリーン(11)の方に片寄っており、前記側板(12、13)の前記後部端面の全体が前記後部壁(14)および前記床部(22)の前記縁部から隔てられており、

前記床部(22)の前記縁部が前記後部壁(14)の領域にあり、

前記引出し案内の前記レールシステムが、前記側板(12、13)を前記家具本体から完全に引き出すことを可能にすることを特徴とする、引出し(10)。

【請求項 2】

トレーまたは少なくとも1つの容器(15、16)が、前記引出し(10)の前記後部壁(14)上に位置される少なくとも1つの支持体(17)を用いて取り付けられ得ることを特徴とする、請求項1に記載の引出し。

【請求項 3】

前記各支持体(17)が、前記容器(15、16)またはトレーがその上に吊り下げ可能のようにフックとして実施されることを特徴とする、請求項2に記載の引出し。

【請求項4】

前記各支持体(17)が、前記引出し(10)の前記後部壁(14)上に吊り下げ可能であり前記容器(15、16)がそれに吊り下げ可能であるように、両掛けフックとして実施されることを特徴とする、請求項3に記載の引出し。

【請求項5】

前記前部スクリーン(11)とは反対側の、前記側板(12、13)の前記縁領域に対して、前記後部壁(14)および、前記前部スクリーン(11)とは反対側の、前記床部(22)の前記縁部の片寄りが、引出しシステムを形成するレールの長さの約2分の1であることを特徴とする、請求項1に記載の引出し。

10

【請求項6】

前記各支持体(17)が、中空型材として実施され、端領域に、前記引出し(10)の前記後部壁(14)の上縁領域に前記支持体(17)が取り付けられ得るように前記引出し(10)の前記床部(22)の方向に開いているハンギングポケット(18)を有することを特徴とする、前記請求項2～4のいずれか一項に記載の引出し。

【請求項7】

前記各支持体(17)が、前記容器(15、16)の縁ウェブがスロット(20)に挿入可能でありウェブ(19)が前記容器(15、16)の外縁溝に係合するように、前記ハンギングポケット(18)がある端領域のそれとは正反対の領域上にウェブ(19)によって境界が定められたスロット(20)を有することを特徴とする、請求項6に記載の引出し。

20

【請求項8】

前記各支持体(17)の高さが、前記引出し(10)の高さに対応するまたは概ね対応し、吊り下げられた容器(15、16)の床面の下に係合する支持ウェブ(21)が、前記ハンギングポケット(18)および前記スロットの反対側の下縁領域上に成形されることを特徴とする、請求項7に記載の引出し。

【請求項9】

前記引出し(10)が、キャビネット用、具体的に流し台用に設計されることを特徴とする、前記請求項1～8のいずれか一項に記載の引出し。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、引出し案内(pull guide)を用いて家具本体に固定されそれに対して移動可能であり、前部スクリーン、床部、前部スクリーンに対して垂直な2枚の側板および前部スクリーンに平行でありそれから距離を置いて位置する後部壁を備える、家具の一部の引出しに関する。

【背景技術】

【0002】

流し台の形の家具の一部には、1つまたは複数の洗面器が家具本体内部に突き出しているという問題がある。さらに、流し台には給水管路および排水管路も取り付けられる。流し台にはしばしば、貯湯ユニットまたはドレントラップも取り付けられる。このような装置の正確な取り付け位置は事前に定められず、したがって流し台の内部を最適に使用することができない。引出しを典型的な設計において使用する場合、引出しの後部壁のたとえば曲げまたは切り抜きをそれに応じて実施しなければならない。しかし、このタイプの物の完成品(achievement)は最良ではない。というのも広い空間が流し台にとられ、また引出しを家具本体から外に完全に出すことができないので引き出す行為を不快に感じるからである。したがって、今まで、洗面器の下で出し入れすることができる引出しをなしで済ますことが一般的であった。

40

【発明の開示】

50

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0003】

本発明は、装置などが取り付けられているにもかかわらず、家具本体の前部スクリーンの反対側に引出しの高さにある空間を使用することができ、その取り扱いが完全に引き出すことができる引出しと同等であるような、上記においてより詳細に述べたタイプの家具の一部の引出しを実現する目的に基づく。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0004】

上記で述べた目的は、引出しの後部壁および床部の前部スクリーンとは反対側の縁部が、側板の前部スクリーンとは反対側の後部端面に対して前部スクリーンの方に片寄っていることによって達成される。

10

## 【0005】

引出しの可動性および位置決めには周知のレールシステムを使用することができる。したがって側板は家具本体から外に完全に出されることができ、それによって引出しの高さの後部空間も最適に使用することができるようになる。引出しの後部壁および床部の後縁部が前部スクリーンの方に片寄っているため、家具内に取り付けられている装置または管路を邪魔することはない。引出しの後部領域は、使用前に、家具内に取り付けられる装置および管路の位置に合わせて調整することができる。引出し案内は、典型的な引手一式を備え、それによって側板が家具本体から完全に出されることができるようになる。さらに、特別な実施形態が引出し案内に必要なという大きな利点の実現される。

20

## 【0006】

引出しの後部壁に位置される少なくとも1つの支持体を用いてトレイまたは少なくとも1つの容器などが取り付けられ得る場合、後部壁のところにある家具本体の引出しの高さの空間の最良の使用が実現する。1つまたは複数の支持体は、引出しの出し入れのとき、トレイまたは容器が家具本体内に取り付けられた装置または管路を通過するように配置されることができる。容器は、上部が開けられ、それによって引出しおよび/または側板が完全に出されるとき非常によくアクセスすることができるという利点をもたらされる。家具本体の奥行き全体に延びる引出しの利点はこうして実現される。さらに、容器は、引出しの出し入れのとき、内部に置かれた物が脱落しないという利点ももたらす。上記で述べた装置または管路の邪魔にならないようにトレイまたは1つもしくは複数の容器を位置することができるように、1つまたは複数の支持体を配置することができる。しかし、1つまたは複数の支持体は、後部壁に固定されるように位置されるのではなく、容器またはトレイがその上に吊り下げ可能であるようにそれぞれがフックとして実施される場合が特に有利である。トレイまたは容器は締結具などを緩めることなくいつでも取り出すことができる。

30

## 【0007】

さらに、各支持体が、後部壁に吊り下げられ容器がそれに吊り下げられることができるように、両掛けフックとして実施される場合が好都合である。必要なら、容器の位置も変えることができる。さらに、1つまたは複数の容器を取り付けるのに工具および機械的締結具が必要ないことも使用者にとって有利である。

40

## 【0008】

さらに、引出しの床部の前部スクリーンとは反対側の縁部は後部壁の領域内にある。

## 【0009】

好ましい一実施形態において、引出しの後部壁および床部の前部スクリーンとは反対側の縁部の片寄り、引出しシステムを形成する引出しのレールおよび/または側板の長さの約2分の1である。

## 【0010】

各支持体の安定性は十分でなくてはならない。したがって、各支持体は、中空型材(hollow profile)として実施され、端領域に引出しの後部壁の上縁領域上に支持体に取り付けられることができるように引出しの床部の方向に開いたハンギングボケ

50

ットを有する。最小限の使用材料の中空型材によって最大限の負荷容量が達成される。各支持体は、プラスチックから製作されるのが好ましい。各支持体は、１つの押出型材から切り取られてよい。しかし、支持体は、適当な金型を用いて射出成形法で製作されることも可能である。ハンギングポケットによって、各支持体が後部壁に最も簡単な方法で吊り下げられることができるようになるだけでなく、重さによる表面圧が低く保たれ、それによって後部壁の取り付け領域が壊れる危険がなくなる。さらに、装置または管路と衝突しないように後部壁に吊り下げる容器またはトレーを位置決めすることができるよう、各支持体を移動することができることが特に有利である。

#### 【００１１】

１つまたは複数の支持体を用いて容器を後部壁に非常に簡単な方法で吊り下げのために、各支持体は、ハンギングポケットがある端領域のそれとは正反対の領域に、容器の縁ウェブがそのスロットに挿入されウェブが容器の溝様の縁部に係合するようにウェブによって境界が定められたスロットを有する。発生する力は、ウェブに連結するスロットによって最適に逃がされる。

10

#### 【００１２】

各支持体の高さが引出しの高さに対応するまたは概ね対応し、吊り下げられた容器の床面の下に係合する支持ウェブがハンギングポケットおよびスロットの反対側の下縁部上に成形される場合が特に有利である。後部壁に吊り下げられる１つおよび／または複数の容器の高さは、引出しの高さに対応し、それによって、奥行きが家具本体の奥行きである引出しの場合と同じ機能がもたらされる。支持ウェブによって、１つまたは複数の支持体に割り当てられる容器上縁部の荷重が減じられる。

20

#### 【００１３】

好ましい一実施形態において、家具の一部はキャビネット具体的には流し台である。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【００１４】

添付の図面をもとに、本発明を以下により詳細に説明する。

#### 【００１５】

図１～５に示されている引出し１０は、前部スクリーン１１、床部２２（図７）、前部スクリーン１１に横方向に取り付けられそれに垂直な２枚の側板１２、１３および後部壁１４を備える。図１～５によく示されるように、引出し１０は、レールシステムを備える引出し案内を用いて、家具本体（図示せず）に対して出し入れすることができる。引出しシステムは、引出しが家具本体の奥行きと一致する実施形態に対応する。

30

#### 【００１６】

図１によく示されるように、前部スクリーン１１と後部壁１４の間の距離は、各側板１２、１３の長さより著しく短く、すなわち後部壁１４および床部２２の前部スクリーンとは反対側の縁部が、各側壁板１２、１３の前部スクリーン１１とは反対側の後面に対して前部スクリーン１１の方に片寄っている。したがって、以下により詳細に説明するように、引出し１０の高さ領域において使用可能な自由空間がもたらされる。

#### 【００１７】

図３に示されるように、後部壁１４には、同一構造の２つの長方形の容器１５、１６が、以下により詳細に説明するような方法で吊り下げられる。図によく示されるように、容器１５、１６の床面は引出しの床面の高さにあり、前部スクリーン１１の反対側にあるそれに平行な壁部は、側板１２、１３の関連する面で終端している。容器１５、１６は、互いに距離を置いて位置される。というのも、それらは見えるほどの間を置くことなく側板１２、１３に押し付けられるからである。引出し１０は、ドレントラップなどが中央に取り付けられる場合に起きるそれらとの衝突なしに家具本体（図示せず）に対して動かされ得ることが、図３からわかるであろう。引出し１０の格納状態において、このドレントラップは、２つの容器１５、１６の間にある。

40

#### 【００１８】

図４は、図３による構造の上面図である。容器１５、１６の幅は、引出し１０の幅の約

50

3分の1であり、したがって容器15、16の間に比較的広い自由空間があることが図からわかるであろう。

【0019】

図5には、容器15、16の位置を図3に示されている実施形態に関して変えることができることが示されている。この例において、容器15、16は、断面および形状は同一であるが、自由空間が側板13の横隣に位置するように互いに押し付けられ、したがって家具本体内の対応する領域内に取り付けられている装置が容器15、16と衝突しなくなる。自由空間はまた、側板12の横隣に位置され得ることに留意されたい。すでに述べたように、容器15、16の特定の位置は、家具本体内の状態によって決まる。さらに、容器15または16を1つだけ後部壁14に吊り下げることにも可能である。

10

【0020】

図6には、容器15、16を後部壁14に吊り下げするための支持体17の可能な一実施形態が示されている。したがって、支持体17は、中空型材部分として実施される。支持体17の高さは、引出し10のそれにほぼ対応している。引出しの床面の反対側にある上部領域には、床面の方向に開いたハンギングポケット18がもたらされ、それによって支持体17は後部壁の上縁領域上にそれを終端させその上で移動可能のように配置されることができるようになる。一方の側にハンギングポケット18の境界を画するウェブに隣接して、もう1つのウェブ19がある距離を置いて成形され、その結果スロット20ができる。

【0021】

20

図3、5に示されるように、容器15、16は、外側に曲がった縁部を備え、したがって各縁部の外側ウェブがスロット20に係合する。ウェブ19は、溝様のキャビティ内に置かれ、その結果各容器15、16にかかる荷重が可能な限り小さくされる。各容器の縁領域の荷重をさらに減じるために、支持体17は、ハンギングポケット18の反対側に容器15または16の床面の下に係合する支持ウェブ21を備える。

【0022】

図示の例示的な実施形態において、容器15、16は長方形として実施される。したがって、2つの支持体17が後部壁14への吊り下げに使用されることが好ましい。支持体17のこの実施形態は、例において見ることができる。各容器15、16は、工具の助けおよび機械的締結具なしに後部壁14に配置され、もう1つの実施形態において家具本体

30

内の状態に適合するように移動可能であることが非常に重要である。

【0023】

図7には、支持体17の支持ウェブ21が引出し10の床部22の高さにあることが示されている。したがって、各容器15、16の床面は、床部22の内面とほぼ同一平面上にある。さらに、図には、各支持体17のハンギングポケット18が後部壁14の上縁領域にオーバーラップすることが示されている。

【0024】

家具本体の、引出し10の高さ領域および前部スクリーン11の反対側の領域における空間を最適に使用することができることが図からわかるであろう。

【0025】

40

本発明は、図示の例示的な実施形態に限定されない。好ましくは流し台の形である家具の一部の引出し10の後部壁14および床部22の前部スクリーン11とは反対側の縁部が、前部スクリーン11の方に片寄り、トレイまたは容器15、16が、上述のように設けられた自由空間内に位置され、好ましい一実施形態において家具本体の状態に適合され得るように異なる位置に取り付けられ得ることが必要である。

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】片寄った後部壁および前部スクリーンの内面が見える、本発明による引出しの斜視図である。

【図2】前部スクリーンの表から見える面を見ることができる、図1の引出しの図である

50

。

【図 3】 2つの容器が後部壁に吊り下げられている、図 1 に対応する図である。

【図 4】 図 3 に対応する上面図である。

【図 5】 容器が別の位置にある、図 3 に対応する図である。

【図 6】 容器を引出しの後部壁に吊り下げするための支持体の例示的な一実施形態の正面図である。

【図 7】 図 6 の支持体を用いて容器が後部壁に吊り下げられている引出しの垂直断面図である。

【符号の説明】

【 0 0 2 7 】

1 0 ... 引出し

1 1 ... 前部スクリーン

1 2、1 3 ... 側板

1 4 ... 後部壁

1 5、1 6 ... 容器

1 7 ... 支持体

1 8 ... ハングングポケット

1 9 ... ウェブ

2 0 ... スロット

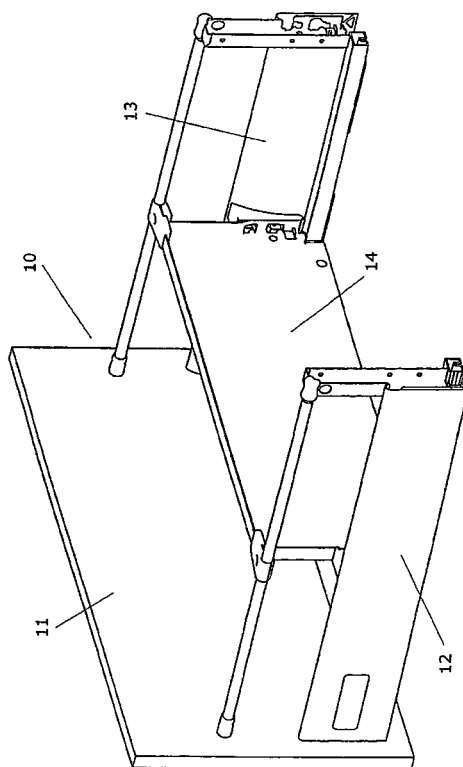
2 1 ... 支持ウェブ

2 2 ... 床部

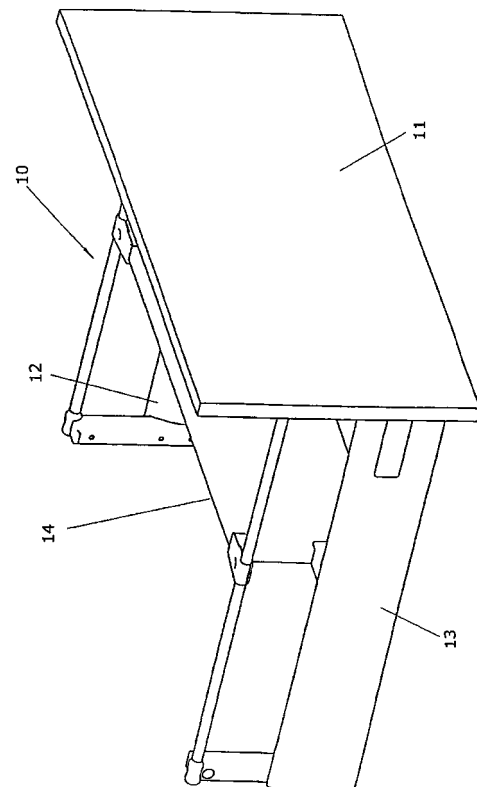
10

20

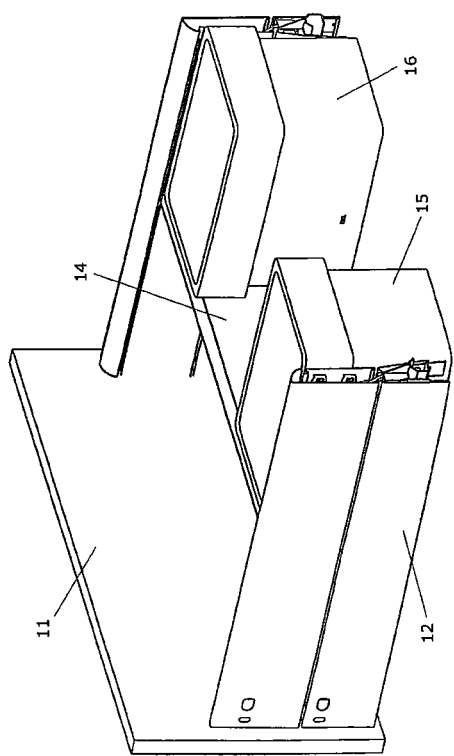
【図 1】



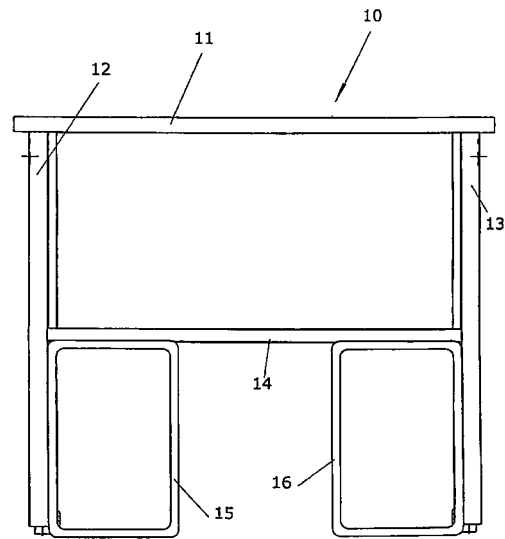
【図 2】



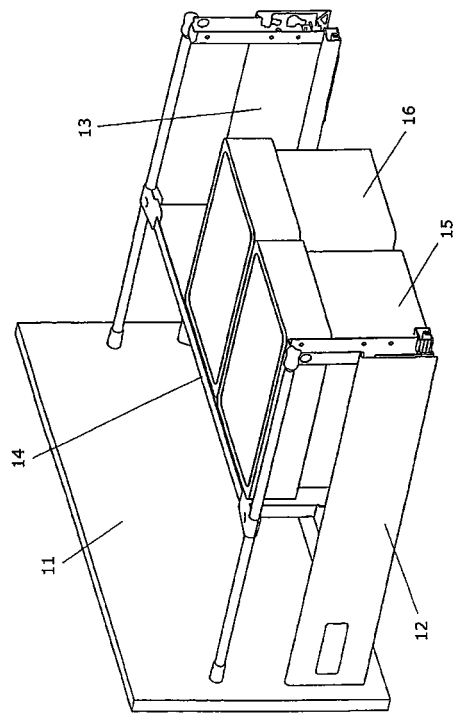
【図 3】



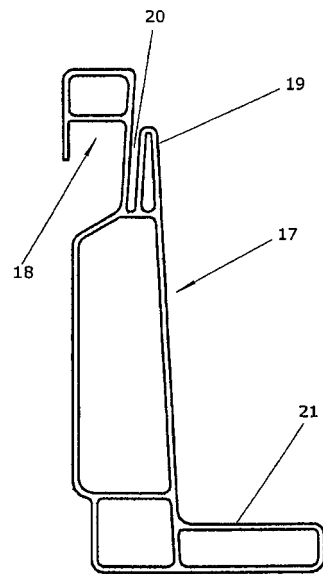
【図 4】



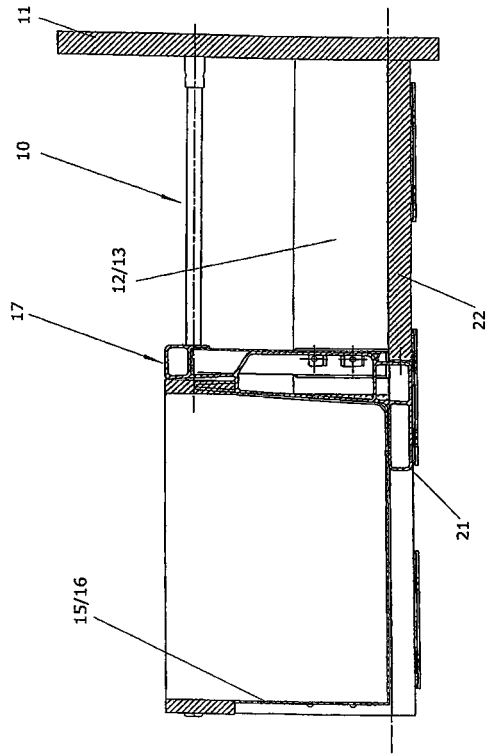
【図 5】



【図 6】



【図 7】



---

フロントページの続き

(56)参考文献 特開2003-339462(JP,A)  
特開2002-360457(JP,A)  
実公昭62-31014(JP,Y2)  
実開平05-072241(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A47B 88/00 - 88/22  
A47B 77/00 - 77/18